

特定施設水道連結型スプリンクラー設備(乾式)

NS 特定機器評価品

水道連結型スプリンクラー設備

スプラッシュ
SPldash®

大切な人と暮らしの安全を守るために、
「必要」だから。

NOHMI

「義務だから」ではなく「必要だから」の意識を！ 火災から大切な命や財産を守りましょう！

住宅火災による総死者の**66.6%**は**65歳以上**の高齢者が占めています。

今後さらに**高齢化**が進んでいくことで**住宅火災による死者の増加**が懸念されています。



火災発生



スプリンクラーなし

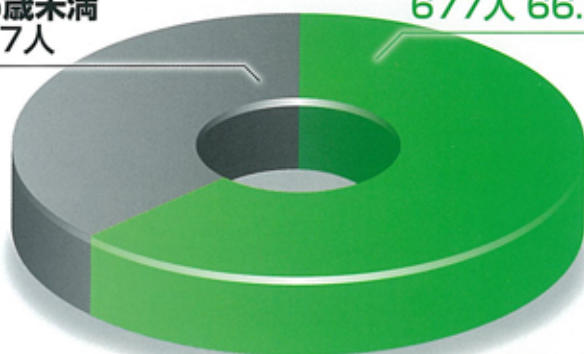


スプリンクラーあり

住宅火災による年齢別死者数

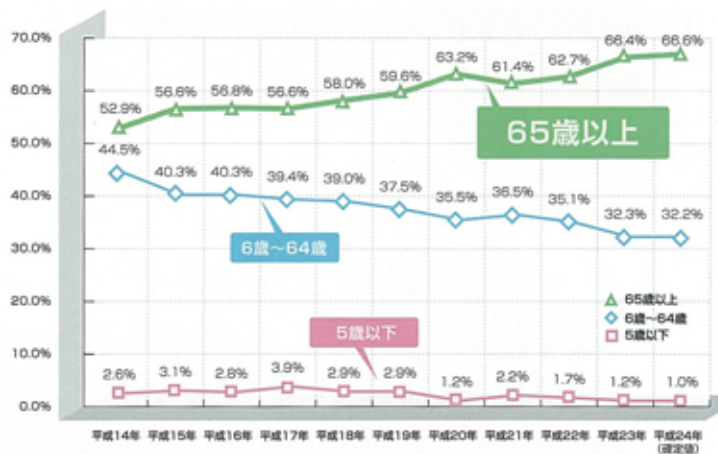
65歳未満
337人

65歳以上
677人 66.6%



住宅火災死者における年齢区分別割合の推移

(放火自殺者等を除く。)



総務省消防庁 平成24年(1月～12月)における火災の状況(確定値)より

避難時間を確保するために

能美防災はホームスプリンクラーをお勧めいたします。

スプリンクラー設備の設置により、万が一の火災による、被害の軽減が可能になります。
大切な方の命だけではなく、財産も守る重要な防災機器となります。



優れた性能によりあなたの

能美防災がこれまでの数多くの実績を基に研究開発したホームスプリンクラーには、様々な特徴が

生活を見守ります。

あります。これらはすべて設置され運用される皆様のための人に優しい機能です。

安全性能

早期警報機能

水が出る前に、音声で火災の発生をお知らせする機能です。



1



ベターリビングが認定した
優れた品質・性能をもつ住宅部品です。

安心設計

水漏れの心配無用

通常時、天井配管は水が入っておらず、
水漏れの心配がありません。



2

注) コンシールド部の作動状態によっては、水が漏れる場合があります。

System & Function

水道連結型スプリンクラー設備(乾式) ホームスプリンクラー

親切機能

音声警報と停電対策



火災の発生がスタッフに伝わりやすく、迅速な対応が可能になります。
また、専用バッテリーの内蔵により、万が一の停電にも安心です。

3

4

美観保持

優れたデザイン

カバー付きのコンシールドヘッドを採用し、
天井の美観を損ねません。



優れたエンジニアリング

高品質な設計内容により、最適な防災システム
のご提案をお届けいたします。



安心のサポートサービス

万が一の場合にも、24時間、365日、
全国対応可能です。

24H
365days

●当社との点検契約が
必要になります。

水道連結型スプリンクラー設備の適用範囲

平成21年4月より、自力避難困難な者が入所する社会福祉施設に対し消防用設備等の設置基準が強化され、(6)項0の275m²以上の防火対象物にはスプリンクラー設備の設置が必要となりました。

1. 設置が必要な防火対象物(令別表1の(6)項0)

グループホーム、ショートステイ、特別養護老人ホームなど 延床面積 275 m²以上※1(平屋建て含む)

※1 延床面積1,000m²以上になると、水道連結型スプリンクラー設備は適用できません。

2. 設置をおすすめる防火対象物

デイサービス、小規模多機能型居宅介護施設など(令別表1の(6)項0)※2

グループホーム、ショートステイなど(延床面積 275m²未満)

※2 延床面積6,000m²以上になると、水道連結型スプリンクラー設備は適用できません。

設置にあたっての注意事項

- 断水や取水制限、また近隣の水道使用状況などにより水道圧力が低下している場合には、規定の放水ができない場合があります。
- 設置する地域の水道水圧が、本設備で必要となる圧力よりも大きいことを確認してください。水圧が不足する場合にはポンプなどを設置してください。
- 壁および天井の内装仕上げが不燃材料(不燃材料含む)に満たない場合、本システムの設置はできません。
- 最高周囲温度が39℃以上となる部分には設置できません。
- 本システムの設置にあたっては、所轄消防本部と協議し指導を受けてください。
- 一般の住宅にも設置できます。

防災のパイオニア「能美防災」が知識と経験をもとに開発した水道連結型スプリンクラー設備

ノーマが提案する乾式システム

作動フロー

火災時の熱によりコンシールド部が作動するとスプリンクラー配管が充水され、スプリンクラーヘッドが作動すると散水します。

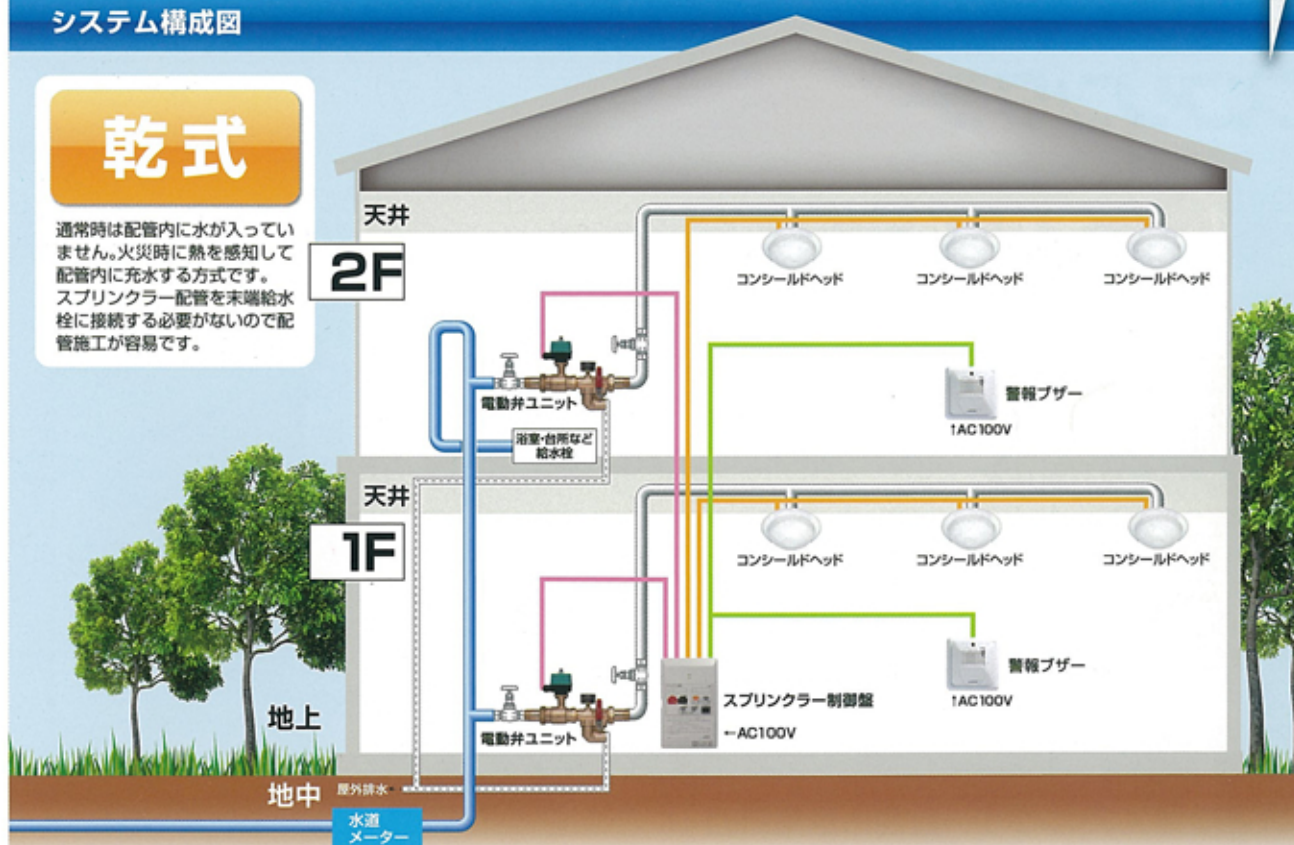


注) スプリンクラーヘッドが散水を開始すると、電動弁を閉止しない限り散水し続けます。

システム構成図

乾式

通常時は配管内に水が入っていません。火災時に熱を感じて配管内に充水する方式です。スプリンクラー配管を末端給水栓に接続する必要がないので配管施工が容易です。



スプリンクラー制御盤



コンシールド部の落下による作動信号を受け、火災表示および音声メッセージによる警報鳴動をおこない居住者の迅速な避難を促し、同時に電動弁開放制御を行い、スプリンクラー配管内を充水させます。

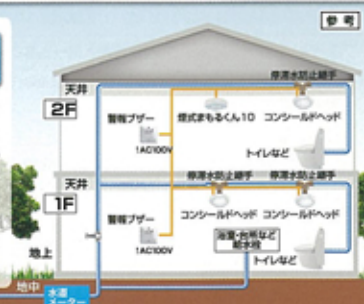
電動弁ユニット



通常時は閉止状態にあり、火災時のコンシールド部の落下による信号を制御盤を経由して開放信号として受信し、電動弁開放制御を行い、スプリンクラー配管内を充水させる装置となります。

湿式

配管の中には常時水道水が充水されており、火災時の熱によりコンシールドヘッドが溶融開栓すると散水が開始される方式です。



参考

140410(C)-E-2701Y02